

団体名		社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会						
事業	指標名	YouTubeチャンネルの活用（年間動画掲載本数）			目標値	6 本	実績値	4 本
	過去の実績	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成率	66.7%	達成状況	未達成
	（単位： 本 ）	6	4	2				
	取組内容	・助成事業の紹介動画は、前年度は助成事業全体の内容としたため、動画時間が 7 分となったため、「地域福祉活動助成」に特化した動画を 2 分程度にまとめて、短時間で必要な情報が得られるようにした。 ・小学生のナレーションによる市民社協の紹介動画を作成した。 ・その他、居場所づくり推進のための助成事業等も含めた事業紹介動画、委員公募のための配分推せん委員募集の動画を作成した。						
	一次評価	・各事業での YouTube の活用（掲載）が徹底できなかった。また掲載した動画の視聴回数は 20 回～270 回にとどまり、広報ツールとして効果的な成果を上げることができなかった。ただし、YouTube も含めた SNS の活用は必須と考えるため、効果的な活用方法についても検討を継続していく。						
	二次評価	新たな動画を作成しているものの、視聴回数に結びついていない。今後広報ツールとして YouTube の動画を活用することも見据え、チャンネルの周知にも努められたい。						
財務	指標名	会費収入			目標値	2,900 千円	実績値	2,758 千円
	過去の実績	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成率	95.1%	達成状況	未達成
	（単位： 千円 ）	3,233	3,129	2,909				
	取組内容	・令和 2 年度から会員特典として開始した会員優待サービス協力店拡充の働きかけを行った。 ・令和 4 年度にキャッシュレスでの会費納入の検討を行い、令和 5 年度からはクレジットカード決済を開始した。 ・既存会員よりも若年層をターゲットとした新規会員拡大のため、七夕のつどいにてアニメ映画の上映を行った。 ・マスコットキャラクター「あいあい」のステッカーやノート、うちわ等を作成しイベント等で配布したほか、塗り絵を募集し、応募いただいた作品を広報紙で紹介する取組みを行った。						
	一次評価	・会員数は、前年比 106 件減少（個人▲106、団体▲2、特別賛助+2）となり、会費収入も減少してしまった。 ・会員優待サービス協力店は、前年度比 4 店の増加（8 店舗→12 店舗）となり、店舗数は増加することができた。 ・SNS の活用、マスコットキャラクターの PR 強化等の広報活動に取り組み、市民社協の認知度向上による新規会員の獲得に取り組んでいく。						
	二次評価	会員数の減に伴い、目標の会費収入を達成できなかった。引き続き、市内イベント等の機会を捉えて会員の活動の周知に努められたい。						
内部管理	指標名	人材育成指針			目標値	人材育成指針の作成	実績値	人材育成指針案の作成
	過去の実績	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	達成率	50.0%	達成状況	未達成
	（単位： ）	—	作成に向けた情報収集・検討	人材育成指針（骨子案）の作成				
	取組内容	・令和 3 年度から人材育成指針の作成に向けた検討を開始し、これまでに骨子案の作成を行ったが、担当者の異動に伴い、改めて他団体の育成指針等の情報収集を行った。						
	一次評価	・他団体の人材育成指針等を参考として指針作成に向けた検討を行ったが、完成には至っていない。 ・職員の能力向上のためにも、職員研修等を含めた人材育成指針を作成する必要がある。						
	二次評価	人材育成指針の作成については、以前より取り組まれているが完成に至っていない。作成に至らない要因を分析した上で、効果的な人材育成を目指されたい。						